

2020年5月7日

文部科学大臣  
萩生田 光一 様

一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会  
会長 神永 芳子  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-7-3 柄澤ビル7階  
電話 03-5958-8070

## 新型コロナウイルスへの対応に関する緊急要望書

### 〔要望趣旨〕

新型コロナウイルス感染拡大が続くなかで子どもたちへの感染の不安が広がっています。専門医からは、先天性心疾患をもつ子どもたちが感染した場合には、重症化するリスクが高いと言われており、病児の親は不安な毎日を過ごしています。（日本小児循環器学会「新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に関するQ&A」参照）

「緊急事態宣言」以降、ほとんどの小中学校、高等学校、特別支援学校では、休校の措置がとられてきましたが、5月に入り再開する地域も出てきています。そのため、心疾患をもつ子どもの親からは、「学校に行かせてもよいのか」「自分の子どもだけ休ませるのは学習の遅れが心配」という声が多数寄せられています。また、病児がいる家族の児童を学校に行かせることも躊躇しています。さらに、見た目から障害がわからない心臓病の子どもたちが、再開された学校を欠席することで、他の子どもたちからの差別や偏見による“いじめ”につながることも懸念されています。

文部科学省においては、2020年度補正予算による学校再開に向けた支援や、各方面への臨時休業に関するガイドラインを示すなど、学校における感染拡大の防止に努められていることは承知しています。しかし、それらだけでは先天性心疾患のような慢性疾患や障害をもつ児童への教育の保障という点で十分なものとは言えません。子どもたちが安心して学校に通える環境を整えるとともに、特別な支援が必要な子どもたちの学ぶ権利を保障する体制整備を行うことが重要になっています。

以上のことから、下記のことを要望いたします。

### 〔要望項目〕

1. 学校再開時の感染予防対策においては、医療的ケアを必要とする子どもはもとより、心疾患をもつ児童やその家族への配慮が十分に行われるよう、教育委員会を通じて学校への周知・徹底を行ってください。
2. 学校再開後、心疾患をもつ子どもの登校については保護者の判断で決められるようにすること、また、感染リスクを避けるために欠席した場合には「出席停止」扱いとすることを周知徹底してください。さらに、家族に病児がいる児童が感染を心配して欠席する場合も同様の措置を行ってください。
3. 自宅で待機する心疾患をもつ子どもや、その家族である児童に学習の遅れを生じさせないための特別な支援のひとつとして、オンライン学習ができるようにする措置を講じてください。また、地域による格差が生じないよう十分な予算の確保と、人的な増員を行ってください。
4. オンライン学習とあわせて、訪問学習による対応を柔軟に行う措置を講じてください。また、そのための人的な予算を確保してください。
5. 心疾患をもつ子どもが休校を続けることによる、無理解による“いじめ”やクラスでの疎外感が生み出されないような配慮が行われるよう、学校への指導を行ってください。またその際は、学級担任だけに任せることなく、スクールカウンセラーや学校全体で支援する体制を整えてください。
6. 高等学校・大学などの高等教育においては、新型コロナウイルスの影響での経済的理由から学費が払えない場合には、学費免除・軽減・補助などの措置を講じてください。

以上

【参考資料】日本小児循環器学会「新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に関する Q&A」

<http://jspccs.jp/covid-19/families/> より抜粋

## 小児循環器学会からの新型コロナウイルスに関する Q&A (一般向け)

※ 本学会のQ&Aは先天性心疾患や子どもの心臓病の患者さんに向けた内容になります。  
一般的なよくある質問、子どもに関する質問、大人的心臓病の患者向けの質問に関しては、  
厚生労働省や他学会のリンクを掲載していますので、そちらをご参照ください。

### Q1 先天性心疾患の人は特にリスクが高いのでしょうか？

新型コロナウイルスが先天性心疾患を持つ子どもや大人にどんな影響を与えるかはまだ分かっていません。ほとんどの専門病院では新型コロナウイルスにかかった先天性心疾患患者を診た経験がありません。先天性心疾患以外の心臓病のある方が新型コロナウイルスに感染すると、重症化しやすいと言われていています。心臓病のある方の多くは、もともと心臓や肺が弱っているため、ウイルスにかかることによってより危険な状態になる可能性があります。確固たるデータはありませんが、先天性心疾患の種類によって重症化のリスクは異なると考えられます。

#### 重症化するリスクの高い心臓病

- ・ 複雑な先天性心疾患の方 (手術前、手術後)
- ・ 単心室 (フォンタン手術後)
- ・ 酸素飽和度が低い、またはチアノーゼがある
- ・ 心臓の力が弱っていたり、心不全がある
- ・ 不整脈がある
- ・ 肺高血圧などの肺の問題がある
- ・ 過去 3 ヶ月以内に心臓の手術を受けている
- ・ 先天性心疾患以外に肝臓、腎臓、内分泌などの他の疾患を患っている
- ・ 心臓移植を予定している人、もしくは移植を受けた人
- ・ ダウン症候群、22q11.2欠失症候群、無脾症候群、多脾症候群  
ステロイド剤や免疫抑制剤の使用など免疫力低下のある人

### Q2 先天性心疾患でリスクが高い状態ですが、保育園や学校、仕事に行くべきでしょうか？

Q1の項目に当てはまる人は、特に感染者の多い地域では、たとえ体調がよくても、可能な限り学校や仕事には行かないことをおすすめします。

3月2日から実施された全国の小中高校の臨時休校が終了し、通常の登校が再開されている地域があります。また、保育園や幼稚園は休園の対象とならず、年齢ごとに対応が分かれました。この期間で就学前の乳幼児の新型コロナウイルスの感染者数が増加したとの明らかな報告はありません。もちろん、お子さんにとって学校生活は心身の発達にとって重要な役割を果たします。原則として、お住まいの地域の指示に従っていただくことをお勧めしますが、地域で子どもの感染者が発生した場合などは、ご家族のお考え、場合により主治医の意見を参考に登校の可否を判断してください。